

林業技術センター内人工ホダ場における大雪の影響

1 はじめに

平成17年12月の積雪深は、盛岡で76cmと記録的な大雪で、各地でビニールハウス倒壊など被害が発生しております。当センターの人工ホダ場では、散水管破損等の被害が発生しております。被害概要を報告しますので、今後の維持管理の参考にしてください。

2 積雪の状況

平成17年12月末に降った雪は、遮光資材を止めている細いパイプ、骨組み単管パイプ、雨除け資材展開用のパイプにまたがるように着雪し、積もりました。(写真-1、2、3)



写真-1 天井付近に付着した残雪

木造部分及び単管パイプ部分の双方とも天井部分に着雪しましたが、木造部分は2月20日現在でも残雪がありました。



写真-2 雨除け資材用のパイプに着雪した雪
中央は落雪により折れた給水管



写真-3 単管パイプの残雪

3 積雪による影響

天井付近に付着した雪は連日の低温により凍結して遮光資材を止めている細いパイプにまたがるように雪の塊ができました。これが後に落下し、直下に設置してある塩ビ給水管が破損しました。

また、天井部分の雪の大部分は、遮光資材を取り付けている細いパイプの中央部付近に積もったものですが、この雪の重みでパイプがたわみ、落下したものが十数本ありました。

4 積雪前に対策を講じた部分

積雪前に、凍結防止のため散水施設の water 抜きと、雪どけ水や雨が雨除け資材に入って膨らんで重量を増し破損することを防止するため、雨除け資材を巻き取り、雨水や雪が入らないように縛りました。

その結果、今回の積雪や夏場に多く起きる水溜り(写真-4)を回避することができました。



写真-4 雨水が溜まって膨らんだ雨除け資材
凍結・融解を繰り返して重くなり破損する

5 今後の対策について

4月上旬までは、湿雪が降りやすい時期です。人工ホダ場本体は、台風の時に受けるような大きな被害は殆どありませんが、防風資材の剥離、雨除け資材の水たまり、遮光資材を吊り下げているワイヤー、散水管などの破損が発生していることがあります。人工ホダ場内にも残雪があり巡回は容易ではありませんが、今後の降雪により連鎖的に被害が拡大する場合がありますので、破損箇所の確認及び補修計画を早期に立て、降雪の影響を受けやすい雨除け資材、遮光資材吊り下げワイヤーなどは応急修理を行います。写真-1、3のように残雪が付着している場合は、天気予報を参考にして降雪前に早期に除去します。

(担当 林産利用部 上席専門研究員 小原孝文)

連絡先

028-3623 岩手県紫波郡矢巾町大字煙山第3地割560番地11 TEL 019-698-1337
岩手県林業技術センター FAX 019-697-1410
ホームページアドレス <http://www.pref.iwate.jp/hp1017/>